

令和4年度 第2回 焼津市地域公共交通大井川分科会 会議録	開催	日時	令和4年10月24日(月) 午前10時00分～11時15分
		場所	焼津市役所大井川庁舎 3階大会議室
議題	・大井川地区の公共交通について		
出席委員 10名	(公共交通大井川分科会) 会長 久保山 巖夫 (焼津市) 委員 吉林 史仁 (しずてつジャストライン(株)) 委員 小泉 明裕 (静岡県タクシー協会志太榛原支部) 委員 谷澤 優 (焼津市自治会連合会 下小杉自治会長) 委員 白石 睦美 (焼津市自治会連合会 中島自治会長) 委員 竹内 正至 (焼津市自治会連合会 相川自治会長) 委員 原川 光世 (焼津市民生委員児童委員協議会 大井川南地区) 委員 井鍋 眞澄 (焼津市民生委員児童委員協議会 大井川東地区) 委員 滝井 不二夫 (焼津市民生委員児童委員協議会 大井川西地区) 委員 五十右 直 (焼津市社会福祉協議会) 委員 小澤 代輔 (大井川商工会)		
欠席委員	なし		
議事内容			
会議の成立	委員総数 11 名全員が出席している。過半数を超えているため会議は成立する。		
議題	・大井川地区の公共交通について 1 大井川地区デマンドタクシーの登録状況について 事務局説明 ・9月末現在の利用登録者数及び地区別、男女別、年代別の登録状況について説明した。 ＊資料：【説明資料】 P 3 【質問・説明等】 ○小泉委員：運行当初は、登録者は500人弱であったが、現在では約600人となった。最近では登録の電話と同時に予約をする利用者が増えている。 ○五十右委員：高齢者が利用の中心となっている。ケアマネージャーを対象にデマンドタクシーを利用したツアーを企画し、実際に乗ってみてから利用が見込まれる高齢者に紹介したいとの意見が出ている。 また、障害者施設等に対しデマンドタクシーの周知を進めていきたい。 2 利用状況について 事務局説明 ・9月末までの月別の運行便数、乗合率、便別の利用人数や各停留所の利用状況、地区別の実利用者について説明した。また、路線バスや自主運行バスを含めた大井川地区の公共交通の利用状況について説明した。 ＊資料：【説明資料】 P 4～P 7		

【質問・説明等】

○小泉委員：上泉・つつじ平地区の利用者の大半は、つつじ平団地の住民であり、ロコミで利用が増加している。また、吉永第二公会堂での利用者は、介護ヘルパーが同乗して利用されている。このような利用が可能なことを周知していきたい。

○五十右委員：高齢男性の外出支援に取り組んでおり、デマンドタクシーを周知していきたい。また、免許返納してしまうと買物などに出掛けなくなるとの相談等が多く寄せられている。相談の対応の中でデマンドタクシーについて紹介していきたい。

○滝井委員：焼津大島線の大井川地区での利用状況はどうか。

⇒事務局：大井川地区における焼津大島線の利用者は徐々に増加しており、また、大井川焼津線の利用者も増加している。全体として、昨年度と比較し公共交通機関の利用回数は増えている。

3 利用促進について

事務局説明

・今年度を実施したデマンドタクシーの周知活動について説明した。

*資料：【説明資料】P8～P9

【質問・説明等】

○五十右委員：事前の登録や予約が煩雑なイメージがある。かわら版の利用者インタビューのように実際の利用者の生の声を届けていくことは、利用促進を図る上で有効である。

○谷澤委員：地域の組回覧では情報が組長までで止まってしまうこともある。本来にデマンドタクシーを必要としている人へ届けるには、老人会などの会合へ出向いて説明する必要がある。

⇒事務局：さわかやクラブなどの団体と連携し、イベントや会合などで周知を図っていきたい。

○吉林委員：幅広い年代の方に呼び掛けることも大切であるが、現在の利用の中心となっている60代以上の女性をメインターゲットとして、利用促進を図ることが有効な対策である。

⇒事務局：60代以上の女性に対象を絞った利用促進策を検討していきたい。

○原川委員：民生委員児童委員の定例会で説明していただき、民生委員が家庭訪問時にデマンドタクシーを紹介できるようにしてはどうか。

⇒事務局：ご提案いただいた定例会に出席し、説明したい。

○井鍋委員：女性の参加者ほとんどが女性であるミニデーを開催しているので、説

	<p>明に来てほしい。 ⇒事務局：出席し説明したい。</p> <p>○小泉委員：70代・80代の方からの問い合わせを受けた際に登録や予約の手続きがネックになるケースがある。</p> <p>○滝井委員：利用状況やアンケート調査などから停留所の場所を見直していく必要がある。地区別の利用状況について、実利用者数だけでなく、年齢や人口に対する割合を見て、分析していく必要がある。</p> <p>⇒事務局：新規停留所の中でも利用がない停留所もある。見直しは随時検討していく。利用状況については、ご意見を参考に分析を行っていく。</p> <p>○小澤委員：デマンドタクシーの全体の説明を行うよりは、具体的な地区や目的、時間に応じた例を示して説明を行う必要がある。 また、免許返納された方に対して、デマンドタクシーのPRを行ってはどうか。</p> <p>⇒事務局：説明の方法については、ご指摘いただいたとおり具体例を示して行うようにしたい。免許返納者に対する利用促進も行っていきたい。</p> <p>○吉林委員：登録者を増やすことと、利用者の増とは、別の施策として考える必要があり、説明の内容や方法も変わってくる。</p> <p>⇒事務局：会合などで説明を行う場合には、その目的に合った説明となるように心掛けていく。</p> <p>4 愛称決定について 事務局説明 ・大井川地区の住民に公募したデマンドタクシーの愛称が決定したこと及び表彰式の開催について説明した。 *資料：【説明資料】P10</p> <p>【質問・説明等】 ○小泉委員：せっかく愛称が決定したので、状況を見ながら予約センターでの電話対応の際も『くるりん号』を前面に出してPRしていきたい。</p>
閉会	<p>予定していた議事が終了。 第3回焼津市地域公共交通大井川分科会の開催日時は未定</p>